

平成31年度京都大学公共政策大学院

入学試験問題（一般選抜）

科目名：政治史

この表紙の次には、以下の出題分野の試験問題が1ページに各2問ずつ、計2ページで4問ある。

1. 政治史
2. 日本政治外交史

4問から2問を選んで解答すること。

1問につき、答案用紙1冊を用いて解答すること。

答案用紙ごとに、所定の欄に科目名、出題分野名、問題番号を記入すること。

科目名 政治史 出題分野名 政治史

問題 1 第二次世界大戦の終結後から 1950 年代にかけて、西欧諸国はいくつかの分野において統合を模索したが、その具体的経緯について、当時の国際情勢と関連付けて論じなさい。

問題 2 以下の問いから 1 問を選択し、解答しなさい。解答の冒頭に選択した番号を必ず明記すること。

- (1) 第一次世界大戦に対するアメリカの政策を具体的事実に即して論じなさい。
- (2) 普仏戦争の原因と結果について、国際情勢に留意しながら、歴史的事実に即して論じなさい。

科目名 政治史 出題分野名 日本政治外交史

問題1 日英同盟の締結（1902年）から失効（1923年）に至る日英関係はどのように推移したか。歴史的事実に即して論じなさい。

問題2 1970年代以降、日本政府は過去の戦争に対する認識をどのような形で表明してきたか。中国との関係を中心にして、歴史的事実に即して論じなさい。